



手足口病が再び流行！

昔から暑さ寒さも彼岸までと言われるように、秋のお彼岸を過ぎてから一気に秋めいてきました。季節の変化を敏感に感じ取るかのように、小児科外来では鼻風邪や喘息のお子さんが増えています。夏場に増えた新型コロナは一段落し、9月になり手足口病が流行しています。

今年の春先にも流行した手足口病ですが、その時よりも今回の方が流行規模が大きくなっています。今年2度目の感染という人もいて、春とは異なる株が流行しているようです。愛媛県感染症情報センターの報告によると、3月から7月中旬にかけてはコクサッキーA6型、A10型が、7月下旬からは主にコクサッキーA16型が検出されています。このように手足口病の原因ウイルスは複数の種類があるので何度もかかる可能性があります。

年齢的には5歳以下のお子さんがほとんどを占めますが、まれに大人がかかることもあります。手足口病に特效薬はありません。現在流行している手足口病は口内炎の程度が強いお子さんが多いようです。刺激のあるものは避けて、喉ごしの良い冷たいものを与えて、脱水にならないように注意してください。



こんなとき保育所はお休みしましょう！

【咳がでる】

- 夜間しばしば咳がでて目が覚める。
- ゼーゼー、ヒューヒューという音がする。
- 呼吸が苦しそう。
- 呼吸が速い。
- 少し動いただけで咳がでる。

『保育所における感染症対策ガイドライン』より

9月の感染症情報

9月になり手足口病が流行しました。過去10年間で2番目に多い報告数となっています。新型コロナも少ないながら持続的な発生があります。定点あたりの報告数は1週間で4~5人程度でした。その他、溶連菌感染症、感染性胃腸炎も散発的な発生があります。インフルエンザ、RSV感染症は姿を消しました。



9月の利用状況

9月の利用延べ人数は87人、1日平均利用人数は4.8人でした。年齢別では、1歳児と2歳児が21人ずつで最も多く、次いで4歳児15人、3歳児12人の順でした。疾患別では手足口病が最も多く46人で全体の半分を占めていました。次いで急性上気道炎の26人の順でした。

朝晩の気温が低くなり過ごしやすくなった反面、小児科外来では鼻風邪のお子さんが増えました。やっとしのぎやすい季節になりました。体調管理には気をつけながら、秋晴れの日はお子さんと一緒に外に出かけて体を動かすようにしましょう。